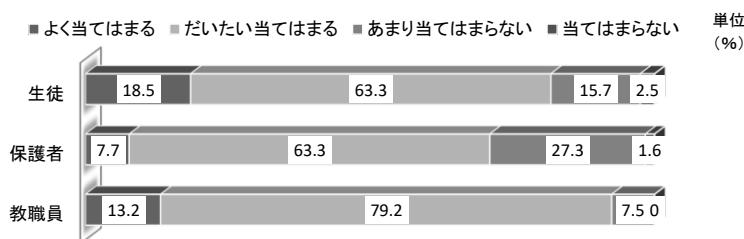


令和4年度 学校評価アンケート結果の分析と対策について

実施時期	生徒	令和4年10月20日(木)～10月28日(金)	
	保護者	令和4年10月20日(木)～10月28日(金)	
	教職員	令和4年10月20日(木)～10月28日(金)	
回答状況	生徒	回答数 792名	回答率 94.6%
	保護者	回答数 556名	回答率 70.2%
	教職員	回答数 53名	回答率 93.2%

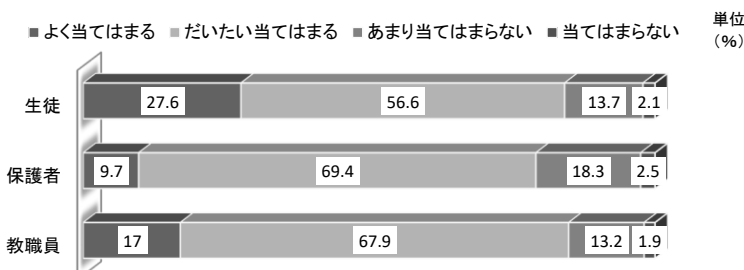
回答方法 「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階で評価

1 富谷高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われていますか。



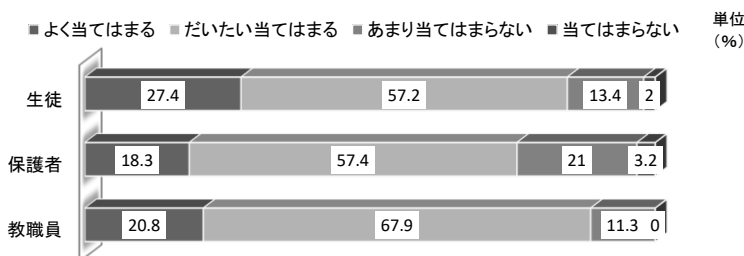
【分析と対策】
全体的に昨年度よりも評価が下がってしまいました。昨年度以降はコロナ感染等による休校も減り、ほぼ従来どおりの授業が実施できる状況となっていますが、厳しい評価となっている点を大いに反省しなければなりません。指導要領の切り替わりやICTの導入、大学入試改革を受け、授業実践の改善に向けて真摯に取り組むよう、様々な研修・研究に取り組み、その姿勢を生徒・保護者にも受け止めていただけるように努力します。

2 富谷高校では、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われていますか。



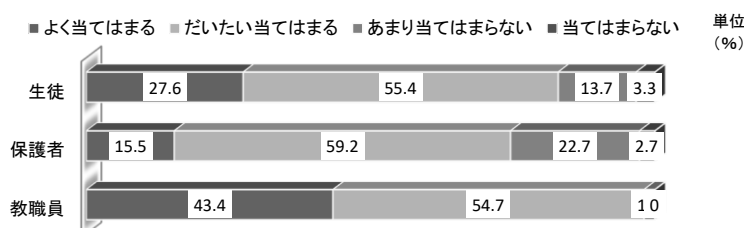
【分析と対策】
毎月実施しているマナーアップ運動及び挨拶服装立番指導を通じて継続した指導を行っており、大きく風紀を乱す生徒もいないことから一定の成果をあげていると考えています。一方、挨拶を率先して行う生徒が少ないことは気になりますが、教職員の挨拶への応答は概ね良好であることから、課題は挨拶そのものよりも受け身の行動から脱却し、主体的に考え、行動できるようになることだと思われます。今後も家庭の協力を得ながら、あらゆる場を通じて主体性を養う取り組みを継続していきたいと思ひます。

3 富谷高校では、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われていますか。



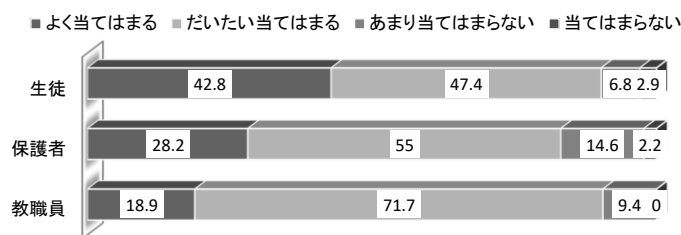
【分析と対策】
生徒と保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計値は昨年、一昨年とほぼ同程度で推移しています。3年ぶりに実施できたキャンパスツアーを始め、進路講演会や進路ガイダンスなど、リモートを交えながらはありましたが、今年度も多くの進路行事や進路学習をほぼ計画通りに実施できたことが生徒の進路目標の明確化に繋がったものと思ひれます。入試制度の多様化に伴い入試をとりまく環境の変化が著しい昨今ですが、保護者の皆様にもご理解を深めていただけるよう、三者面談や学年PTA等の機会を利用しながら、最新の進路情報を発信できるよう努めてまいりたいと思ひます。

4 富谷高校では、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができていますか。



【分析と対策】
「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の値は近年同程度で推移しています。カウンセリングの利用数は例年とほぼ同等で、利用のきっかけは生徒・保護者の申し出に加えて、保健室や担任の先生の働きかけが多い状況です。今後も校内の連携を強めながら、生徒・保護者・教員がより相談しやすい体制をつくるとともに、生徒や保護者に対するカウンセリングの周知(カウンセラー便り、HPへの案内掲載等)も引き続き行っていきたいと思ひます。

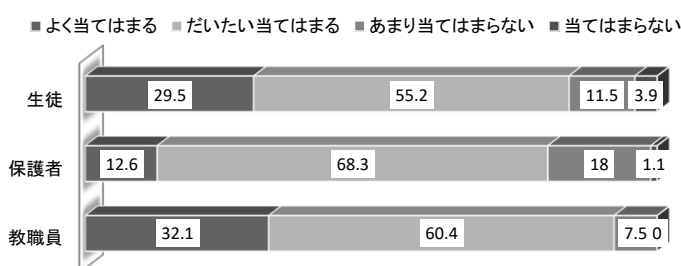
5 富谷高校の部活動は活発に行われていますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 今回の結果より本校の部活動は概ね活発であるとの評価ができていると考えていますが、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の値が保護者と生徒及び教職員との間で大きく開いている点が気になります。活発であると評価する材料が各部活動の活動日数や取り組み状況、成績等々いくつかありますが、本校が目指すべき今後の部活動のあり方を考える上での貴重なご意見として受け止め、検討を進めていきたいと考えています。

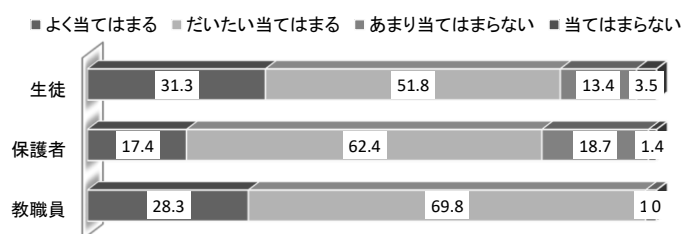
6 富谷高校の生徒会活動は活発に行われていますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 昨年度に引き続き、コロナ禍で制約がある状況の中、自分たちが出来ることを探り、各種学校行事で感染症対策を徹底しながら活動しました。その中で、樹咲祭は制限があるとはいえ、一般公開できたことは一歩前進だと思います。また、一昨年度から継続しているサイクルサミットへの参加と、交通安全啓発活動は、安全意識の向上につながっていると感じます。結果、形ある賞を受賞したことは生徒の大きな励みとなりました。今後も、生徒の主体的な活動になるよう促していきたいと考えています。

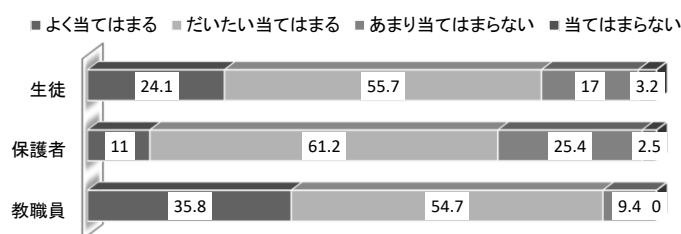
7 富谷高校には、有意義な学校行事がありますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 昨年度に比べて、全体的に「当てはまる」評価が増えています。これは、昨年度まではコロナ対策で行事の中止や縮小しての実施があったため、評価が低く出ているのに対し、今年度は工夫をしてコロナ以前に近い形で行えたことによるものと思われます。しかし、依然としてコロナ対策により縮小を余儀なくされている行事も多いので、対策を講じつつ充実を図っていく必要があると思われます。

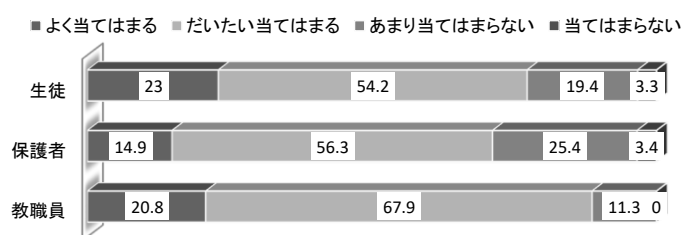
8 富谷高校では、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 新型コロナウイルスの感染拡大で中止していた研修ツアーを8月に実施できたこと、また富谷市役所との連携強化などの要因で保護者及び教職員の積極的な評価がそれぞれ73→84%、81→94%と約10%上昇していると思われます。「ニューズレター」などの広報活動、一人ひとりの参加意識と行動変容を求めて、今後もユネスコの諸行事や諸活動に努めていきたいと考えています。

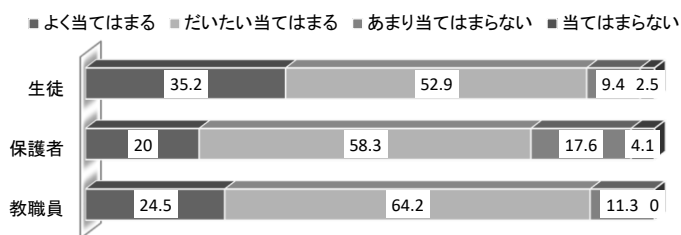
9 富谷高校から災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられていますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 過去2年で見ると、生徒・保護者ともに「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の数値は昨年より80%を超え高い理解が得られるようになりました。今年は若干下がりましたが高い比率となり生徒・保護者ともに防災意識は高いと推測されます。今年度は春の防災避難訓練で自己防災シートを家庭に持ち帰り、家族で再確認としたのですが、家庭に持ち帰らず、確認しなかった生徒がいたようです。来年度は確認方法をメール等でも出来るようにして全家庭、全生徒が日頃から緊急時の対応について意識できるようにしていきます。

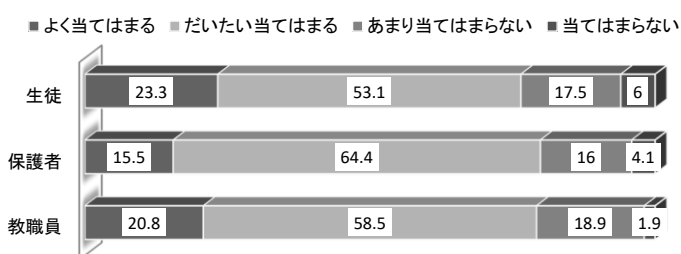
10 学校便りなどによって、富谷高校の情報は適切に伝えられていますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 今年度はこの項目に関して昨年度より若干評価が低くなりましたが、例年並みの数値が出ています。コロナまん延以降、生徒・保護者等にメールを通じての連絡を随時行ってきましたが、様々な情報発信方法が定着したことにより、発信する情報の選択や発信するタイミングを考慮する必要がありそうです。今後もより適切に、効果的に情報発信ができるよう、さらなる研修や実践を積んでいきたいと考えます。

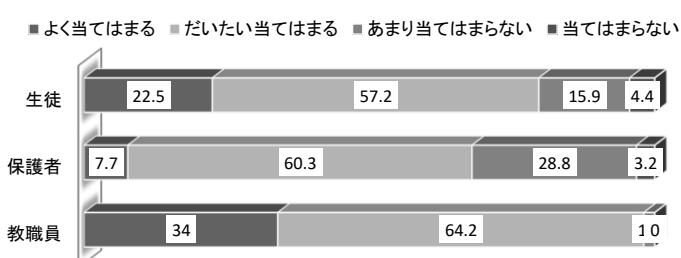
11 校舎やグラウンドなど富谷高校の施設や設備は整備されていますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と回答いただいた割合は、約78%(全体)で、昨年度より6ポイント減となりましたが、直近3か年平均は80%となっています。令和4年度当初は、洋式トイレの改修・増設工事の計画予定でしたが、3月に発生しました福島県沖地震災害復旧等のために延期(時期未定)となっております。緊急・突発的な施設修繕を行いながら、今後も、生徒の皆さんが安全で安心して楽しい学校生活を送れるよう環境整備に取り組んでまいります。

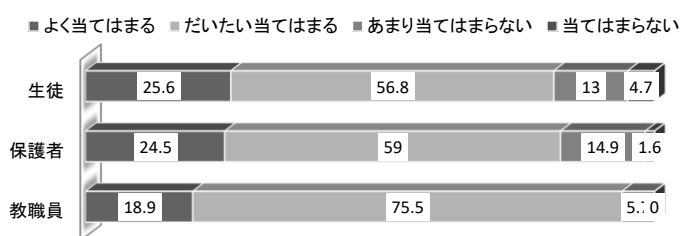
12 富谷高校では、いじめの早期発見に取り組んでいますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 生徒の「当てはまる」の値は、一昨年度、昨年度とほぼ同じです。保護者の「当てはまる」の値は、昨年度から上昇しており、今年度は更に10ポイント上昇しています。「あてはまらない」は10ポイント減になっています。今後も担任との二者面談及び三者面談等を通じて、生徒と保護者の方のサポートを強化していきます。また、昨年度から実施している「いじめアンケートの持ち帰り記入方式」を今後も継続し、生徒が安心して記入できるような配慮をしていきます。そのことによってアンケート及びセルフチェックシートに保護者の方も関わっていただき、学校の取り組みに一層協力してもらえるよう努力していきます。

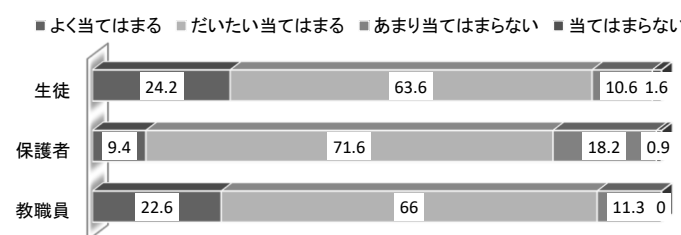
13 あなたの学校生活は充実していますか。



単位 (%)

【分析と対策】
 昨年、一昨年のデータ比べると生徒の「よく当てはまる」及び「だいたい当てはまる」の値が増加しています。これはコロナ禍により制限されていた活動が再開し、通常の学校生活に戻ってきたことによるものだと考えます。今後は新型コロナウイルス発生以前の本校の姿を知る世代がいなくなってしまったことを踏まえ、新たな形での学校行事や部活動の活性化を進め、より充実した学校生活を送ることができるよう生徒を支援していきます。

14 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されていますか。



【分析と対策】
 本校のスクールポリシーについては、現状ではあまり頻繁に発信されておらず、生徒・保護者に浸透しているとは言いがたいと思われます。しかし、「当てはまる」の割合がこれだけ高いところを見ると、本校の教育課程に関する満足度は高いものと考えられます。新指導要領の実施によって引き続き教育課程の改善を目指しますが、スクールポリシーの浸透とともに生徒・保護者の要求に応える内容も備えられるよう検討を進めます。